

## 学校経営推進費 評価報告書（2年め）

### 1. 事業計画の概要

<b>学校名</b>	大阪府立西成高等学校
<b>取り組む課題</b>	生徒の自立を支える教育の充実
<b>評価指標</b>	進級卒業率の向上及び卒業後1年間の就労定着率の向上（離職率の通減）
<b>計画名</b>	「生徒を勇気づけるキャリアステージ計画」（地域協働キャリアセンター構想）

### 2. 事業目標及び本年度の取組み

<b>学校経営計画の 中期的目標</b>	<p>地域協働キャリアセンターを中心に校内外の連携による生徒の職業観・勤労観の自覚を育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 挫折や失敗からリカバーするチカラを育成する。</li> <li>○ アルバイト支援（経営推進費）を継続し、2年次のインターンシップを通して、段階的・実践的な職業教育を実施する。</li> <li>○ 社会人基礎力の養成を行う。（1年次からの人間関係作りなどを含めた）</li> <li>○ 定着支援にも重点をおく。</li> </ul> <p><b>【評価指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①学校教育自己診断アンケート（生徒）における「成長実感」 （R2 78.4%, R3 83.0%, R4 79.6%） R7目標 75%維持</li> <li>②進路指導に対する自己診断アンケートでの満足度（R2 86%, R3 88.6%, R4 85.6%）R7目標 75%以上維持</li> <li>③地元への就職定着を促進しながら、就職内定100%を維持する。（令和3年度現在11年連続100%達成）</li> <li>④就労1年以内の離職率をR6には10%以内にする。R1年度卒業生離職率16% R2年度卒業生 18.6% R3年度卒業生 24% ※離職率は2年前の卒業生の状況を反映する）</li> <li>⑤キャリア教育の原点は「学びなおし」と自信の回復 進級率卒業率を向上させる。R6卒業生数200名（213名入学）卒業率94%をめざす。 （令和3年度卒業学年の3か年 2年への進級率 86.2%、卒業率 79.7% 令和4年度卒業生 2年への進級率 93.9% 卒業率 現在で 72.4%判定会議前）。</li> <li>⑥R4 生徒を勇気づけるキャリアステージ計画（地域協働キャリアセンター構想） （R4 現在1年からの進級率85%を90%に、卒業率76%を80%に 1年後の離職率16%に R6 1年からの進級率94%、卒業率90%に、1年後の離職率10%に）</li> </ul>
<b>事業目標</b>	<p>平成29年度からエンパワメント改革の第2期と位置づけ、中退率の通減と就職内定率100%の維持をめざして、取組みをすすめてきた。学校満足度は94%に到達し、生徒の自己成長感が高まってきている。さらに、令和3年度末には中退率がついに3%を割り込み第2期の目標はほぼ達成したかのように見える。</p> <p>しかし、今年度中退こそは減少したが、転学者がかなり多数に上った。そのため、進級することなく学校を離れる生徒が多くなっている。私たちの学校が考える進路保障はこうした学が自信を持つことができなかつた生徒が学びのステージを上がっていくことで自信を回復し、将来への見通しやそこに望む精神を獲得する過程だと考えている。目標は中退率の減少にとどまらず、卒業する生徒を一人でも多くする。そしてその人たちが地域社会で定着することをめざすものである。そのために、進路保障センターを通じて、地域協働の取組みの中で生徒を市民に育て上げていくことである。</p>

<b>整備した 設備・物品</b>	○地域協働アルバイト支援費 (委託費・500,000円) ○地域協働キャリアセンターの運営(報償費・737,000円)
<b>取組みの 主担・実施者</b>	責任分掌：教務学習課・進路保障課 (計画実施主体 「ともに学び・ともに育つ」多様な教育実践モデル校校内WG) 全教職員が関与する
<b>本年度の 取組内容</b>	<b>■ 1年生</b> ○アルバイト支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の希望等を個別面談で聞き取りをしてから、アプリなどを使って求人検索</li> <li>・面接練習(入室、声のボリューム、話し方、所作など)</li> <li>・個別相談にて、家庭での課題、学校での悩み等を聞いた場合は早急に教員に報告</li> <li>・面談回数：延べ28人</li> </ul> <b>■ 2年生</b> ○6月インターン実施 ⇒対象生徒164人(90社、136名がインターンに参加) ○1月インターン実施 ⇒対象生徒23人(14社、18名がインターンに参加) ○アルバイト支援(職業理解に向けての面談含む) <ul style="list-style-type: none"> <li>・面談回数：延べ24人</li> </ul> <b>■ 3年生</b> ○就職活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・履歴書添削、面接指導</li> </ul> ○5月仕事理解ガイダンス(42社) ○10月卒業生講話(講師：13名) ○アルバイト支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・面談回数：延べ3人</li> </ul>
<b>成果の検証方法 と評価指標</b>	1年からの進級率を92%、卒業率を83%、1年後の離職率を13%にする。
<b>自己評価</b>	令和5年度 1年からの進級率 94.6% …………… (○) (在籍者(過年度からの在籍のみの生徒を除く) 202名 進級 191名) 令和5年度 48期生卒業率 65.2% …………… (△) (1年生当初 201名 卒業 131名) 令和4年度卒業生の1年後の離職率 18.7% …………… (△)
<b>次年度に向けて</b>	進級率については評価指標を上回り、一定の成果をあげることができたものの、卒業率、離職率についてはさらなる取組みの充実が必要である。 令和5年度3月には地域協働キャリアセンター(校内通称「ステップルーム」)のハード面の整備も終わり、次年度から、生徒の面談などの就職やアルバイト支援に係る様々な取組みを、より充実して行うことができる環境が整った。CCの活用によるアルバイト支援等の充実、自尊感情に働く評価週間(コミュニケーションウィーク)の取組みに進路の観点をこれまで以上に含めていくこと、キャリアパスポートを活用した学校生活の多くの分野で生徒が進路について自ら考え行動できる体制づくりなどを進めていく。

### 3. 事業費報告

今年度事業費総額	200,000	円
----------	---------	---

#### 積算内訳

\* 決算科目（節）を明示し、節毎に積算内訳を記載すること。

積算内訳	科目（節）	番号	内訳	単価	数量	金額
	1 報償費		1	アルバイト支援事業報償費	¥200,000	1
		2				
		3				
					小計	200000
					合計	¥200,000